

新技術・製品紹介 軽くて強い!鉄筋を使わないプレキャストコンクリート板を開発
 守谷和夫氏(守谷建具店社長)が発明し、特許取得
 『ウッドミック』2020年08月号掲載

一般的なプレキャストコンクリート板は、床材や壁材としてひび割れの防止、強度を確保する為に、内部に格子状に組んだ鉄筋(ワイヤーメッシュ)を挿入して製造されている。その為、プレキャスト板の重量が非常に重いものとなり、取り扱いに際しては重機を必要とする等、扱いづらい資材の一つである。

この程、建具製造を本業とする守谷和夫氏((有)守谷建具店)は、鉄筋を使用せずに代わりに合板、ケイ酸カルシウム板、大平版、フレキシブルボード及び合板・木材・ケイカル板を組み合わせ積層構造にした中間板材をコンクリート板で挟み込んで製造したプレキャストコンクリート板を開発・発明し、特許第6648965号として登録された。(図参照)

守谷氏が発明したプレキャストコンクリート板は、カーテンウォールとしての用途にも使用できる軽量の壁材資材としての用途もあり、図のように木材片を利用する以外にも様々な植物系繊維を鉄筋の代わりに使用して製造でき、一方、コンクリートにカーボン等を混ぜ込んで製造すれば、電磁波等の透過を防止できる壁などにいろいろと応用できる。

ウッドミック(株式会社ウッドミック)2020年08月号より転載

新技術・製品紹介
 鉄筋を使わないプレキャストコンクリート板を開発
 守谷和夫氏(守谷建具店社長)が発明し、特許取得

軽くて強い!

一般的なプレキャストコンクリート板は、床材や壁材としてひび割れの防止、強度を確保する為に、内部に格子状に組んだ鉄筋(ワイヤーメッシュ)を挿入して製造されている。その為、プレキャスト板の重量が非常に重いものとなり、取り扱いに際しては重機を必要とする等、扱いづらい資材の一つである。

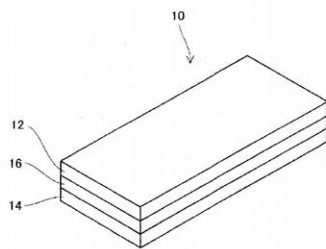
この程、建具製造を本業とする守谷和夫氏((有)守谷建具店)は、鉄筋を使用せずに代わりに合板、ケイ酸カルシウム板、大平版、フレキシブルボード及び合板・木材・ケイカル板を組み合わせ積層構造にした中間板材をコンクリート板で挟み込んで製造したプレキャストコンクリート板を開発・発明し、特許第6648965号として登録された。(図参照)

守谷氏が発明したプレキャストコンクリート板は、カーテンウォールとしての用途にも使用できる軽量の壁材資材としての用途もあり、図のように木材片を利用する以外にも様々な植物系繊維を鉄筋の代わりに使用して製造でき、一方、コンクリートにカーボン等を混ぜ込んで製造すれば、電磁波等の透過を防止できる壁などにいろいろと応用できる。

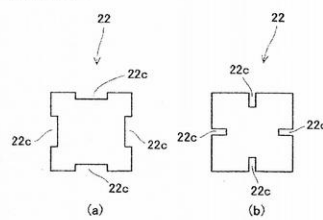
■問い合わせ先(有)守谷建具店(埼玉
 県所沢市三ヶ島3-1783、守谷和
 夫社長、☎042-1948-233

守谷氏が発明したプレキャストコンクリート板は、カーテンウォールとしての用途にも使用できる軽量の壁材資材としての用途もあり、図のように木材片を利用する以外にも様々な植物

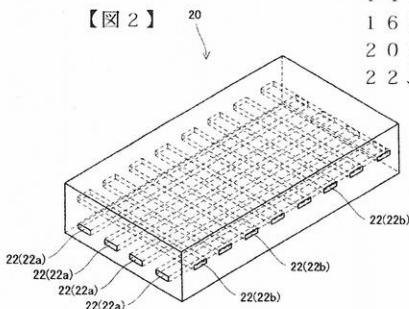
【図1】



【図3】



【図2】



- 14 : 鉄筋の無い第2コンクリート板材
- 16 : 中間板材
- 20 : プレキャストコンクリート板
- 22、22a、22b : 木材片